

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	20 - 文芸 - 3
-----------------	-------------

平成20年度配分 研究成果の概要

研究名	SUACのX7"i P P - 1 - 2 関する研究				
配分を受けた特別研究費	文化芸術研究センター長 特別研究費 2,200 千円				
研究者氏名 (代表者)	学 部 名 (研究科名)	学 科 名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン	X7"i P 造形	教授	長島洋一	代表者, 会計責任者
共同研究者	文化政策	芸術文化	准教授	片山奈緒	コンテンツ産業 への展開
	デザイン	X7"i P 造形	講師	和田和美	Webサイト, 広報
	"	"	教授	古田祐司	映像
	"	"	准教授	的場いりし	映像/インストール
	"	"	"	佐藤聖徳	インストール
	"	"	"	羽田隆志	"
発表の方法 (予定で可)	「コンテンツデザイン研究」における 1 紀要 コンピュータサウンドの活用事例		号 数	第 8 号 (2008年 3 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名: 情報処理学会 青年情報処理研究会 「X7"i P コンテンツ・デザインに関する コンピュータサウンドの活用事例」		発表日 (発表 予定日)	平成20年10月11日	
	3 その他 発表の方法: ・ オープンキャンパス ・ X7"i P アートフェスティバル (MAF2008)		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

本学の特長である芸術文化マネジメント、デザイン学部のアートとサイエンス(技術と感性)の結び付いたメディアアートを、将来に向けたSUACの重要な柱の一つとして追求していく。具体的には、文化/芸術/デザインの交流領域である「メディアアート」を軸にして、過去の学長特別研究および文化芸術研究センター長特別研究「メディアアートフェスティバル」の成果を受けて、教員自身が作家として新作を発表する「メディアアートフェスティバル2008」を開催する。新しい視点として、コンテンツ産業との関係に関するシンポジウム、および物理コンピューティング(スケッチング)に関するワークショップを行う。また、新しく技術造形学科から「メディア造形学科」となった対外的アイデンティティの確立をPRするために、2度のオープンキャンパスでの学科紹介・作品発表を重点的に支援する。

(研究の実施方法等)

[1] メディアアートフェスティバル(MAF2008)の開催

<http://1106.suac.net/MAF2008/index.html>

期日 2008年12月19日(金) - 12月21日(日)

- * シンポジウム「日本のメディアアートの未来を考える ～芸術-産業、非営利-営利、振興政策をめぐって～
- * 「フィジカル・コンピューティング」ワークショップ
- * メディア・パフォーマンス
- * インスタレーション展示
- * ムービー・シアター
- * Flash/Web ギャラリー
- * SUAC CGギャラリー

[2] オープンキャンパスでの学科紹介・作品発表

<http://1106.suac.net/news2/20080802/index.html>

<http://1106.suac.net/news2/20081005/index.html>

(得られた成果等)

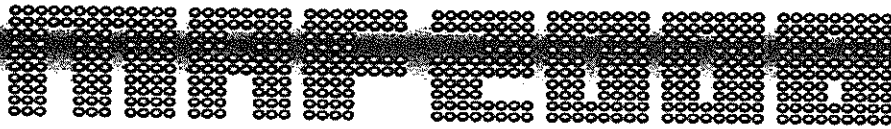
プロジェクトメンバーが他に関与するイベントとの日程的關係から、冬休み期間に入る12月下旬の開催となったため、一部学生の参加が見込みより低下したが、前年度の反省をふまえて、充実した内容となった。

シンポジウムでは、「清水明 文化庁芸術文化課長」「境真良 早稲田大学大学院国際情報通信研究科客員准教授(元経済産業省メディアコンテンツ課長補佐、東京国際映画祭・組織実行委員会事務局長)」「太下 義之 三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長」の各氏を招いて議論することが出来た。

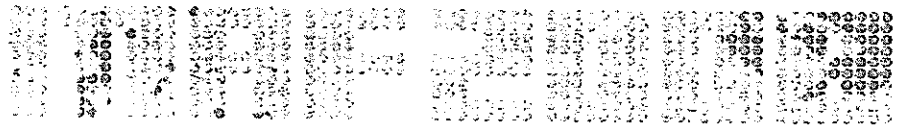
「フィジカル・コンピューティング」ワークショップでは、IAMASの小林 茂 氏、音楽家のRAKASU PROJECT.を招いて、世界先端の紹介を行った。

オープンキャンパスでは、「メディア造形学科」の紹介を、作品の実例とともにメディアアートの視点から紹介したことで、多くの優秀な受験生を獲得し、メディア造形学科の知名度の向上に貢献した。

添付：MAF2008プログラム



Media Art Festival 2008
Shizuoka University of Art & Culture
2008.Dec.19.fri. - 21.sun.



タイムテーブル / Time Table

T TIME TABLE

EVENT	2008. (Dec.)	19 fri.	20 sat.	21 sun.
シンポジウム				14:00-17:00
ワークショップ			10:00-16:00	
メディア・パフォーマンス			16:15-17:30	
EXHIBITION				
インスタレーションギャラリー				10:00-18:00 (*一部 12月20日(土)のみ16:00まで)
ムービーシアター				10:00-18:00
Flash/Web ギャラリー				10:00-18:00 (*12月20日(土)のみ16:00まで)
CG/Photo ギャラリー				10:00-18:00

- 開催日時:** 2008年12月19日(金) - 21日(日) 10:00 - 18:00
(※文化芸術研究センター/「異想空間」での展示は、12月20日(土)のみ16:00まで)
- 観入場料:** 無料
- 主催:** 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター / MAF2008 実行委員会
 日本文化政策学会 (シンポジウム)
- 後援:** 静岡県
 浜松市
 静岡県教育委員会
- お問い合わせ:** 静岡文化芸術大学 企画室 TEL: 053-457-6113